

○ 総務省告示第 号

電波法施行規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十四号）第十三条の二の規定に基づき、アマチュア局が動作することを許される周波数帯を定める件（平成二十一年総務省告示第百二十六号）の一部を次のように改正する。

令和 年 月 日

総務大臣 高市 早苗

次の表により、改正前欄に掲げる規定の下線を付した部分（以下「対象規定」という。）をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の下線を付した部分のように改め、改正後欄に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを順次加え、改正後欄に掲げるその標記部分に二重下線を付した規定は、これを順次加える。

器 具 選			器 具 種		
〔略〕			〔同左〕		
	指定周波数	動作することを許される周波数帯		指定周波数	動作することを許される周波数帯
〔 1 ・ 2 略 〕			〔 1 ・ 2 同左 〕		
3	1,910kHz	<u>1,800kHz</u> から <u>1,875kHz</u> まで及び 1,907.5kHz から 1,912.5kHz まで(注1、注2)	3	1,910kHz	<u>1,810kHz</u> から <u>1,825kHz</u> まで及び 1,907.5kHz から 1,912.5kHz まで(注1)
4	3,537.5kHz	3,500kHz から <u>3,580kHz</u> まで、3,599kHz から 3,612kHz まで及び <u>3,662kHz</u> から 3,687kHz まで(注1、注3)	4	3,537.5kHz	3,500kHz から <u>3,575kHz</u> まで、3,599kHz から 3,612kHz まで及び <u>3,680kHz</u> から 3,687kHz まで(注1)
〔 5 略 〕			〔 5 同左 〕		
6	7,100kHz	7,000kHz から 7,200kHz まで(注4)	6	7,100kHz	7,000kHz から 7,200kHz まで(注2)
7	10,125kHz	10,100kHz から 10,150kHz まで(注1、注5)	7	10,125kHz	10,100kHz から 10,150kHz まで(注1、注3)
8	14,175kHz	14,000kHz から 14,350kHz まで(注6)	8	14,175kHz	14,000kHz から 14,350kHz まで(注4)
〔 9 ～ 14 略 〕			〔 9 ～ 14 同左 〕		
15	435MHz	430MHz から 440MHz まで(注1、注5)	15	435MHz	430MHz から 440MHz まで(注1、注3)
16	1,280MHz	1,260MHz から 1,300MHz まで(注1、注5)	16	1,280MHz	1,260MHz から 1,300MHz まで(注1、注3)
17	2,425MHz	2,400MHz から 2,450MHz まで(注1、注5、注7)	17	2,425MHz	2,400MHz から 2,450MHz まで(注1、注3、注5)
18	5,750MHz	5,650MHz から 5,850MHz まで(注1、注5、注7)	18	5,750MHz	5,650MHz から 5,850MHz まで(注1、注3、注5)
19	10.125GHz	10GHz から 10.25GHz まで(注1、注5)	19	10.125GHz	10GHz から 10.25GHz まで(注1、注3)
20	10.475GHz	10.45GHz から 10.5GHz まで(注5)	20	10.475GHz	10.45GHz から 10.5GHz まで(注3)
21	24.025GHz	24GHz から 24.05GHz まで(注7)	21	24.025GHz	24GHz から 24.05GHz まで(注5)
〔22～25 略〕			〔22～25 同左〕		
〔注1 略〕			〔注1 同左〕		
<u>注2</u> 1,825kHz から 1,875kHz については、国際周波数分配表に従って運用しているアマチュア業務以外の業務の無線局に妨害を与えない場合に限る。			〔新設〕		
<u>注3</u> 3,575kHz から 3,580kHz 及び 3,662kHz から 3,680kHz については、国際周波数分配表に従って運用しているアマチュア業務以外の業務の無線局に妨害を与えない場合に限る。			〔新設〕		
〔注4～注7 略〕			〔注2～注5 同左〕		
備考 表中の [] の記載は対応しない。					

附 則

- 1 この告示の施行の際現に一、九一〇kHzの周波数が指定された免許又は予備免許を受けているアマチュア局は、この告示による改正後の規定による一、九一〇kHzの周波数が指定された免許又は予備免許を受けたものとみなす。
- 2 この告示の施行の際現に三、五三七・五kHzの周波数が指定された免許又は予備免許を受けているアマチュア業務を行う無線局の無線設備は、この告示による改正後の規定による三、五三七・五kHzの周波数が指定された免許又は予備免許を受けたものとみなす。